

(別紙1)
実施計画書
(1) 事業者の概要

項 目		記 入 欄				
1	会 社 名	株式会社 ○○石油				
2	代 表 者 名	○○太郎				
3	住 所	東京都港区虎ノ門 ○-○-○				
4	設 立 年 月 日	昭和○○年○○月				
5	資 本 金	○○.○ 億円				
6	主 要 株 主 及び持株比率 (%)	① ○○銀行 45.1 (%)	④ (%)			
		② ○○商事 35.8 (%)	⑤ (%)			
		③ ○○物産 19.1 (%)	⑥ (%)			
7	財 務 緒 表	前々々年	売 上 高	○○,○○○ 百万円	経 常 利 益	○○,○○○ 百万円
		前々年	売 上 高	△△,△△△ 百万円	経 常 利 益	△△,△△△ 百万円
		前年	売 上 高	□□,□□□ 百万円	経 常 利 益	□□,□□□ 百万円
8	コ ン ビ 則 第 2 条第 22 号の 適 用 の 有 無	有		無		
9	対 象 事 業 所 (設 備 所 在 地)	○○製油所 (○○県□□市○○町 ○-○-○)				
10	間 接 補 助 事 業 の 別 (※)	(1) 球形貯槽のブレースに対する耐震補強 の補助対象経費 (①、 ②、 ③) (2) 重要高圧ガス設備に対する耐震補強 の補助対象経費 (①、 ②、 ③)			3 基分	
11	補 強 工 事 に 自 社 製 品 及 び 関 係 会 社 の 使 用 の 有 無	有		無		
12	担 当 者 連 絡 先	住 所	○○県□□市○○町 ○-△-□			
		部 署 名 及 び 役 職	工務部 部長			
		責 任 者 名	△△次郎			
		電 話 番 号	○○○-○○○-○○○○			
		F A X 番 号	○○○-○○○-□□□□			
		E - m a i l	enjiniaring@enaa.co.jp			

(※) 補助対象経費について申請する①～③に○をつけてください。全ての場合は①～③まで全部に○をつけることになります。(応募要領：5. 補助金交付の対象事業)

(2) 対象設備の概要

(No. 1)

対 象 設 備 名	△△製造設備			
設備の種類 (※1)	球形貯槽 (タンクNo.記載) (※3)			
貯 蔵 物 質	種類	プロパン	可燃性又は毒性の種別	可燃性
	貯蔵量	300 TON	用途	燃料
基 数 (※2)	3 基			
保安物件までの保安距離等 (保安距離を記載した構内地図を添付のこと)	第1種保安物件まで 85 (小学校等) m 第2種保安物件まで 105 (民家等) m 敷地境界まで 50 m			
重 要 度	I _a	I	II	III
補強工事の必要理由	耐震告示前に建設した設備のため、現行の耐震告示の「レベル2耐震性能」を満足させる。			
設 備 の 補 強 概 要 (補強部位も明記のこと)	① 鋼管ブレース交差部の補強を図る。 ② 支柱の断面性能を増強する。 (注記)実施計画書の10項で球形貯槽のブレース補強で申請する場合は、ベースプレート、シャーププレート、基礎ボルトは補助対象外ですので、注意して下さい。 また、耐震告示第250号の例示基準と異なる補強方法を採用する場合は(特に支柱とブレースの取付部)、FEM解析等により高圧ガス設備等耐震基準に照らして十分な保安水準の確保ができる技術的根拠を示す必要がありますので、見積書を添付する場合は、この解析費用も計上して下さい。この費用は補助対象の設計費に含めることができます。			
耐 震 設 計 手 法	大臣認定 SEISMIT-〇〇	KHK 耐震設計指針	その他 (FEMによる動的解析)	

(※1) 設備の種類については、球形貯槽、塔槽類(縦置)、塔槽類(横置)、塔類+架構、配管+架構、基礎等別に記載のこと。

(※2) 記載内容が同じものについて複数のものを申請する場合には基数を明記のこと。

(※3) 補修履歴がある場合には記載のこと。(「記入例」参照)

【補修履歴】

タンクNo.△ 製造年月：昭和△△年□□月

支柱補強：平成〇〇年□□月 (補強内容を記載)

基礎補強：平成〇〇年□□月 (補強内容を記載)

タンクNo.△ 製造年月：昭和△△年□□月

タンクNo.△ 製造年月：昭和△△年□□月